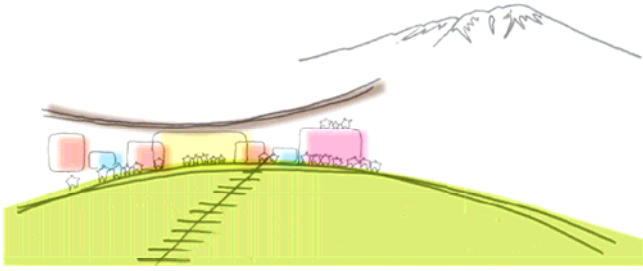


みんなで作る

# ふれあいの大屋根

“滝沢村交流拠点複合施設”

住民が集う場として、大屋根の下、麓に出来た集落のように顔を出す様々な交流施設がにぎわいをつくります。



## ROOF NEWS Vol.2

※屋根の英単語 ROOF をとり、タイトルとしました。

H25.1.10 発行 滝沢村（交流拠点整備室）

### ROOF1 第2回、第3回のワークショップ（作業部会）が開催されました

滝沢村役場前に計画されている交流拠点複合施設の設計について、第2回と第3回ワークショップが滝沢村公民館などを会場に行われました。

（第2回作業部会：11月7日、8日の2日間）

（第3回作業部会：12月17日、18日の2日間）

今回の作業部会は、前回の全体会と異なり、図書館部会、ホール部会、コミュニティ部会それぞれを個別に開催することで、議論をより深めることとしています。



ワークショップの様子

### ROOF2 ワorkshopのかたち（作業部会）

第1回作業部会（全体会）で、(株)三菱地所設計のプロポーザル案について出された意見や疑問点について、まとめの報告があり、これらを受けて出された変更案（A～E案）を基に、基本計画の主旨も振り返りながら、第2回、第3回作業部会でワークショップを行いました。

全体の工程から、最初に複合施設内の各部屋の配置関係を重点的に行っていきたいと考えており、複合施設ならではの各部屋の多目的な利用、部屋同士の連携、外との関係などを含め検討が進められました。

### ROOF3 第2回目と第3回目のワークショップ概要

検討内容を深めるためA～E案の図面のほかに、他の類似施設の事例写真や図面などが提示されました。また、同時期に横浜で行われた大図書館展の様態や併せて行われた視察結果についても報告されました。

これらの中では、図書館の居心地を良くするため喫茶やレストランを積極的に活用したり、静けさを求める人には部屋を別に用意している例、ホールを多機能に利用できるように、床面を昇降したり、客席を自由に移動させるなどの例も見られました。

作業部会は、県立大学狩野先生のサポートや岩手大学生によるワークショップのコーディネート協力を受けて進められています。



第3回ワークショップの様子  
（ホール部会）

### ROOF4 ワorkshop結果概要

#### ホール部会

ホール部会では、ホール利用者、ホール管理者、設計者にはホールの専門家である(株)シアターワークショップが加わり、専門的な議論も含め行われました。その中で設計者より、500㎡の平土間（平らな空間）で500席の観客席は、ホール全体が間延びしたものになるという指摘があり、それをどうするかということが、一つのテーマとなりました。

これについては、他事例でステージを昇降させることで、また、観客席を分割移動させることで、平土間面積を確保し、客席の見やすさや座り心地を向上させ、イベント等に多機能に活用している例があったため、それを研究していくこととなりました。

ホールでは、多数の団体が一同に会し公演する場合もあることから、複数の団体に控室を効果的に提供する部屋の位置取りもテーマになりました。

設備に関しては、プロも呼べるようにしたいとの意見がありました。

### 図書館部会

図書館部会は、司書、図書館利用者、図書館ボランティアなどで構成しています。図書館を居心地の良いものにし、多くの人に来てほしいという思いは共通ですが、明るさや開放性を重視する案、武蔵野市の武蔵野プレイスや代官山の蔦屋の事例から、落ち着いた空間や飲食スペースを設ける案、静寂性重視の案、本を話題に語り合えるとよい、といった多様な意見がありました。

学習室の確保もテーマであり、何も図書館内になくてもいいという案、大屋根の下なので2階スペースを有効活用できないか、などの案もありました。

新聞や雑誌を読むのは図書館の外でも良い、他の来館者が関心の持つ間取りや見え方が重要、など複合施設ならではの意見も出されています。



第3回ワークショップの様子  
(図書館部会)

### コミュニティ部会

コミュニティ部会は、高齢者大学指導員、健康診断や母子教室担当者、施設の管理者などで構成し、小ホール、大・中・小会議室、和室、事務室、団体事務室。キッズルーム、クッキングスタジオ、ふれあい広場などについて検討しています。

小ホールは、複合施設の中でもっとも利用率が高くなると予想される部屋であり、健康診断での位置取り、大ホールとの関係、クッキングスタジオからのケータリングなど、西側に配置した方が良いとの案が出ました。

各室を交流広場の周辺に一括して配置することで、管理上もしやすくなるという案や、逆に分散することで機能を補完し合えるなどの案が出されました。また、キッズルームは、図書館の児童図書コーナーとの関連性重視の声、交流広場との連携重視の声などがありました。



第3回ワークショップの様子  
(コミュニティ部会)

### 産業部会

産業部会では、これまでの3つの部会の体制とは別に、農林関係者、商工観光関係者などが中心となり、産業雇用創造センターのありかたについて検討しています。これまで、会議のほか道の駅の視察なども行っています。

他の部会でも出されましたが、東側駐車場の半地下やアンダーパス（施設の下を通行して反対側の駐車場に行く）については、改善の声が多く聞かれました。駐車場を施設周辺にもっと多くとの声もありました。

### ROOF5 まとめ

作業部会のスケジュールは、建物の内外の配置を中心とした第1フェーズ、各部屋の機能の検討を中心とした第2フェーズ、企画運営について考える第3フェーズと分けています。これから、第1フェーズの最終に向けて進んでいきますが、この様子を ROOF NEWSでお知らせしていきますので、よろしくお願いいたします。



第3回ワークショップの成果